



《浸水の森》2010年 パネル テンペラ 油彩 H:274×W:350cm



《帰去来》2016年 パネル テンペラ 油彩 H:274×W:350cm

小林裕児(1948年東京生まれ)は、1972年東京藝術大学油画科卒業、1974年に東京藝術大学大学院を修了し、独特の世界観で、作家の言葉を借りるなら「常に人間の生に対する葛藤のドラマ」を描き続けている画家です。1984年に春陽展で新人賞を受賞、その後もセントラル美術館油絵大賞展で受賞し、安井賞展でも作品を次々に発表しました。1987年に第64回春陽展賞を受賞した後はギャラリーでの個展も増えました。1989年頃からは、それまでの巧みな技法と奇想に富んだ作風から発展し、背景や情景を取り入れた物語性が出てきたことで作品の広がりを見せました。1990年代後半になると、その場で作品を仕上げるペインティングのライブパフォーマンスに展開させ、さらに近年は、作品の理解を深めてもらうために作品の物語を音楽や朗読、身体表現をも用いて発表活動を続けています。今回は、会場を大型の作品で囲み、パフォーマンスも取り入れて、小林裕児作品の物語の世界を紹介します。ぜひ、物語を読みにお出かけください。



《田園の秘密》2018年 パネル テンペラ 油彩 H:80.3×W:65.2cm

小林 裕児 (こばやし ゆうじ) 略歴

- 1948 東京生まれ
- 1974 東京藝術大学大学院修了
- 1987 春陽展賞受賞、この年よりギャラリー椿の各年個展を中心に全国各地のギャラリー、高島屋、三越等の百貨店で個展を開催すると共に国内外の様々なグループ展に参加
- 1992 山の上ギャラリー個展、以後現在まで度々開催
- 1994 HOPPER HOUSE個展 (アメリカ)
- 1996 第39回安井賞受賞
- 2002 第24回日本秀作美術展、安井賞40年の軌跡展
- 2007/2012/2015/2017 北京ビエンナーレ
- 2014 ポーランド国立Lodz美術大学個展
- 2015 ビョンチャンビエンナーレ、多摩美術大学退任展
- 2017 歳と現代美術展、(株)ヤマトギャラリーホール個展
- 1999年からはライブペインティングを中心に様々な音楽家、舞踏家、演劇人とのコラボレーションを展開中
- 現在 一般社団法人春陽会会員、日本美術家連盟委員、多摩美術大学客員教授

◆美術館ワークショップ「みんなで描く不思議な絵画『回覧板』」

内容：画家・小林裕児さんのお話を聞きながら、5人程で1つのグループを作り、1人1人に配られる画用紙に絵を描いては回し、1枚の作品を完成させます。

開催日程：2019年3月17日(日) 14:00～17:00 会場：市美術館 3階 資料室

講師：小林裕児(本展出品作家) 材料費：500円

定員等：先着20名(小学校1年生～一般) ※小学校2年生までは、年長者の要付添

申込み：2月23日(土)～3月14日(木) 10:00～18:00

※市美術館(TEL:0279-25-3215)へ電話か、直接申し込んでください。

◇パフォーマンス「アコーディオンと詩で楽しむ小林裕児作品『凱風遠音』の物語」

日程：2019年3月9日(土) 14:30～(40分程度) 会場：市美術館 3階 企画展示室

出演：笠井里美(俳優、朗読)、熊坂路得子(アコーディオン)

◇パフォーマンス「コントラバスと詩で楽しむ小林裕児作品『帰去来』の物語」

日程：2019年4月13日(土) 15:00～(40分程度) 会場：市美術館 3階 企画展示室

出演：笠井里美(俳優、朗読)、田嶋真佐雄(コントラバス)

※パフォーマンスは、共に鑑賞無料。

但し、展覧会の観覧券をご購入の方に限ります。



◆電車をご利用の場合◆JR高崎線上野駅より快速で約1時間30分及び上越・長野新幹線東京駅より約1時間、湘南新宿ライン新宿駅より1時間50分前後で高崎駅到着◇JR上越線に乗り換えて約25分で渋川駅より徒歩7分、またはJR高崎線上野駅より在来線の特急で約1時間40分◇渋川駅より徒歩7分  
◆自動車をご利用の場合◆関越道練馬インターから約1時間◇渋川伊香保インターで降り通常約10分

渋川市美術館 桑原巨守彫刻美術館

〒377-0008 群馬県渋川市渋川(新町)1901-24

TEL0279-25-3215